

# 児童生徒のキャリア形成のための モビリティマネジメント教育と教育支援システムの検討

大塚裕子 IBS言語・行動研究室  
須永大介 IBS交通まちづくり研究室  
福本大輔 IBS交通まちづくり研究室

高橋勝美 IBS交通まちづくり研究室  
平見憲司 IBS交通まちづくり研究室  
溝口秀勝 IBS都市・地域計画研究室

## 背景

**キャリア教育**とは「望ましい職業観・勤労観及び職業に関する知識や技能を身に付けさせるとともに、自己の個性を理解し、**主体的に進路を選択する能力・態度**を育てる教育」(平成11年度中央教育審議会)

**モビリティマネジメント**とは、個々人が「移動」という日常的な行動の主体となる際の、**選択と行動**をマネジメントするという考え方

**シティズンシップ**とは多様な価値観や文化で構成される社会において、個人が自己を守り、自己実現を図るとともに、よりよい社会の実現に寄与するという目的のために、社会の意思決定や運営の過程において、個人としての権利と義務を行使し、多様な関係者と積極的に関わろうとする資質

課題:従来の職業教育の単なる職場見学や職業人へのインビューだけでは児童生徒の真の職業観・勤労観を養えない価値観の押し付けになっている可能性もある

課題:教材や事例は出始めてきているが、教育システムとして十分には確立されていない

ねらい:はぐくみたい能力とは

### キャリア教育

#### 社会人基礎力

(キャリア教育で高める力)

- ・前に踏み出す力
- ・考え抜く力
- ・チームで働く力

キャリア教育やシティズンシップ教育を  
実現する具体的なアプローチのひとつ

### モビリティ マネジメント教育

モビリティマネジメントを通して  
自立心・自律心・公共心・自発力・理解力・  
判断力・実行力…をはぐくむ

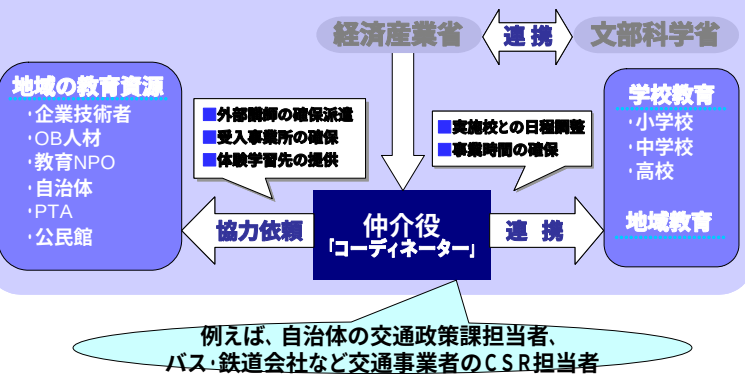
### シティズンシップ教育

- ・他者との関わりに関する意識
- ・社会への参画に関する意識
- ・公的・社会的な分野、政治分野、経済分野での活動に必要な知識
- ・自己・他者・社会の状態や関係性を客観的・批判的に認識、理解するためのスキル
- ・情報や知識を効果的に収集し、正しく理解・判断するためのスキル
- ・他者とともに社会の中で、自分の意見を表明し、他人の意見を聞き、意思決定し、実行するためのスキル

## 目的

キャリア形成のためのモビリティマネジメント教育の導入と継続的運用システムの構築

## 現状と問題点:キャリア教育モデル事業の例



## 議論のポイント:実現可能なシステム構築に向けて

- ・モビリティマネジメント教育にさらに必要な要素はあるか?
- ・授業題材を提供、蓄積するのは誰か?
- ・NPO法人は、コーディネーターとして万能か?
- ・キャリア教育コーディネーターが継続的システムとなるためのインセンティブは?
- ・マーケットとして成り立つか?
- ・想定できる「コーディネーター」は誰か?

## モビリティマネジメント教育におけるプロジェクト型授業題材の例

隣接する市町村の小学校でサッカー対抗試合があります。どんな行き方があるか調べてみましょう(P)。実際に調べた行き方を試してみましょう(D)。それぞれの行き方には、どのような特徴があるか調べてみましょう(C)。どの行き方がよいと考えるかグループで話し合った結果を発表しましょう(A)。

